

ランドスケープシンポジウム 2010

円山公園これまでの歩みから将来を考える
—円山公園の変遷から考える公園利用と保全—

昨年度は、大通公園を舞台に「公園100年 これからの100年—大通逍遥地の変遷から考える公園緑地の未来—」と題し、シンポジウムを開催し、本年度は円山公園、次年度は中島公園と、札幌都心を代表する3公園を対象にシンポジウムを開催する予定です。

日時 平成22年10月2日(土) 10:00~17:00

場所 円山公園、円山動物園、北海道神宮参集殿

参加費 無料

※このシンポジウムは、造園CPD制度の認定プログラムです。参加者はCPD単位を取得できます。

第1部 円山公園見学ミニツアー ※30名限定先着順

会場：円山公園

時間：10:00~12:00 (受付開始 9:30)

予約：円山公園見学ツアーについては事前に予約下さい。申込期限：9月30日17時

問合せ先：TEL 0126-63-4321 / FAX 0126-62-3097 / kobayasi@senshu-hc.ac.jp

※申し込みにあたっては 氏名、連絡先をお知らせください。

円山公園の沿革、現況植生、記念碑の由縁、施設の現状、近年の利用状況などを現地見学しながら再認識し、円山公園のあるべき姿と改善すべき課題について皆さんと考えたいと思います。

○案内人：社団法人日本造園学会北海道支部長 笠 康三郎 氏

○集合場所：円山公園、大通側入り口(南大通の突き当たり)
地下鉄東西線円山公園駅3番出口から徒歩2分
※小雨決行(各自雨具を持参してください)

ランドスケープシンポジウム 2010

第2部

「円山公園のこれまでの歩みから将来を考える」シンポジウム

会場：北海道神宮参集殿（札幌市中央区宮ヶ丘 474）※神宮社務所となり

時間：14:00～17:00（受付開始 13:00）

申込み：事前の予約は要りません。北海道神宮 参集殿へ直接お越しください。

円山公園が有する環境の保全と利用のあり方を考え、後世に引き継ぐために何を考え、何に取り組む必要があるのかを、円山公園の歴史の変遷を踏まえながら、多様な視点で意見交換したいと考えます。

主催者挨拶と趣旨説明 14 : 00～14 : 10

○ランドスケープシンポジウム実行委員会代表 小林 昭裕 氏

円山公園の沿革と現状について 14 : 10～14 : 30

○社団法人日本造園学会北海道支部長 笠 康三郎 氏

基調講演「自然にも運と不運とがある」 14 : 30～15 : 20

○北海道環境財団理事長 辻井達一先生

パネルディスカッション 15 : 20～17 : 00

パネリスト

○株式会社ニットメンテナンス技術顧問 高畑 修 氏

○札幌市円山動物園園長 酒井 裕司氏

○NPO法人ネオス代表 高木 晴光氏

コーディネーター 小林 昭裕氏

終了 17 : 00

主催：ランドスケープシンポジウム実行委員会

共催：社団法人日本造園学会北海道支部、社団法人北海道造園緑化建設業協会、社団法人ランドスケープ
コンサルタンツ協会北海道支部、財団法人札幌市公園緑化協会

後援：北海道開発局、北海道、札幌市、NPO法人ガーデンアイランド北海道